

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2016-169599(P2016-169599A)

【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2016-106316(P2016-106316)

【国際特許分類】

E 06 B 5/16 (2006.01)

E 06 B 7/14 (2006.01)

【F I】

E 06 B 5/16

E 06 B 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月5日(2016.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

特許文献1には、障子と、障子を開閉自在に保持する枠とを備えたサッシが開示されている。

この特許文献1のサッシでは、框の見込み面と、框に対向する枠の見込み面との両方に、火災の熱により膨張する熱膨張耐火材を設けて、火災時に框と枠との間を塞ぐことが開示されている。

特許文献2には、下枠が中空部を有すると共に下枠には中空部内の水を排水する排水穴が形成してあるサッシが開示されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開平8-158743号公報

【特許文献2】特開平11-107648号公報

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、特許文献1の技術では、框に設けた熱膨張耐火材は面をサッシの外周側に向かっており、枠に設けた熱膨張耐火材は面をサッシの内周側に向いているので、火災時にサッシの室外側の熱を受け難い為、火災発生から熱膨張耐火材が膨張して枠と障子との間を塞ぐまでに時間がかかるおそれがある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そこで、本発明は、火災発生時に熱膨張耐火材が早期に膨張して障子と枠との間を塞ぐ
ことができるサッシの提供を目的とする。